

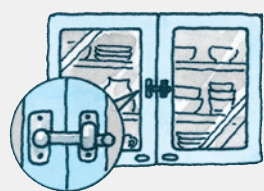
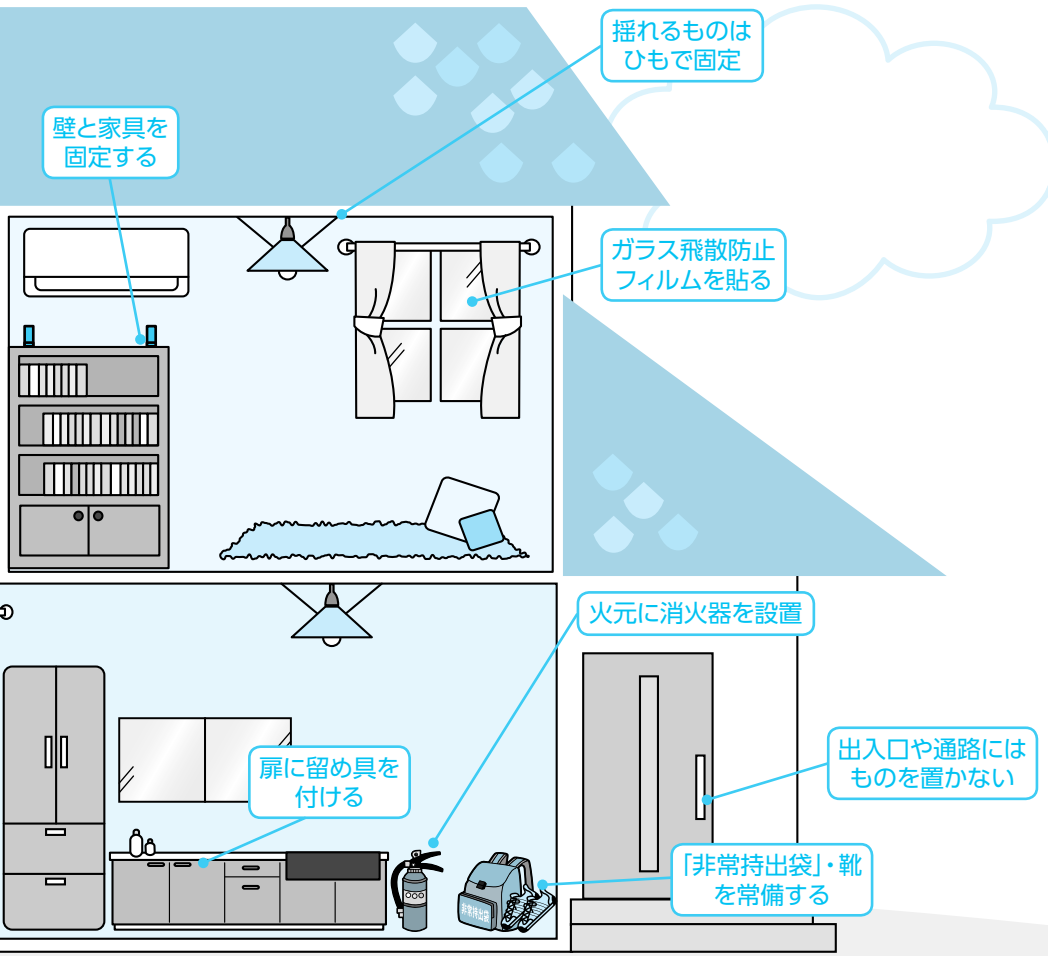
地震が来るその前に！

今すぐ地震に備えよう

いつするの？
今でしょ！

家の中の安全対策

地震による被害で大きな割合を占めるのは家具の転倒です。最近では、自分で簡単にできるさまざまな転倒・落下を防止するための用具を見掛けるようになりました。まずは、自分でできることから始めてみましょう。



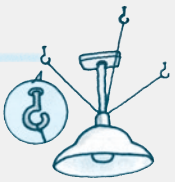
食器棚
L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートや布巾などを敷く。扉は開かないように留め具を付ける。



冷蔵庫
2ドアの場合は扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。

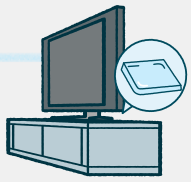
照明

チェーンと金具を使って数力所止める。蛍光灯の両端を耐熱テープで止めておく。



テレビ

粘着性マットやストラップで本体と台を固定する。

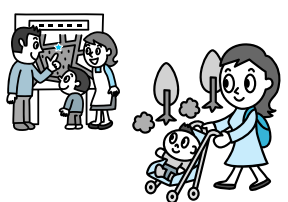


避難場所や連絡方法の確認

地震が起きたとき、どこに、どのように避難するのか、また家族とはどのように連絡を取り合うのかをあらかじめ決めておきましょう。

避難場所や避難経路を確認

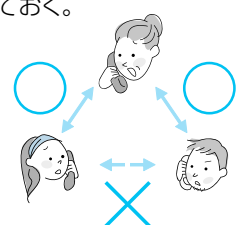
自治会または町で指定されている避難場所がどこにあるかを確認し、安全に移動できる経路を普段から確認しておく。



散歩から、避難場所まで行って確認しておきましょう。

家族の連絡先を確認

地震が発生したとき、家族が離れていることを想定して家族共通の連絡先を決めておく。



大地震は、いつどこで起きてもおかしくはありません。関東地方や東海地方では、近い将来、かなり高い確率で大地震が起きることが予測されています。今、地震が発生したら、あなたは自分や家族の命を守る準備はできていますか？ 私たち一人一人が事前に備えておくことで、避けることのできる被害、守ることのできる命があります。もしものときにできるだけ危険を回避できるよう、今すぐ地震に備えましょう。

問 生活安全課 消防防犯係
(防犯センター内) ☎58-3703

いざ地震が発生したら!

突然の地震には、誰もが恐怖を感じるものです。とにかく身の安全が第一ですので、危険から身を守る方法や避難するための知識を身に付けておきましょう。

危険から身を守るために

屋内では

- 揺れを感じたら、棚などの家具類から離れ、速やかに机の下などに隠れる。(隠れる場所がない場合は、手近にあるクッションなどで頭を守る)
- 揺れが収まってから火の始末をする。(揺れている間はやけどをする可能性があり危険です)ガスの元栓も閉める。
- 割れたガラスなどを踏んでけがをしないように、底の厚いスリッパや靴を履きましょう。
- 玄関ドアや窓を開け、避難経路を確保する。

屋外では

- かばんなどで頭を守り、公園など落下物の危険が少ない場所へ避難する。
- 窓ガラスや看板などの落下物やブロック塀、切れた電線などにも注意する。
- 車を運転中に地震が起きたら、慌てずに道路の左側へ駐車し、徒歩で避難する。

キーを付けたまま
ドアロックはしない

安全に避難するために

- ヘルメットや防災ずきんなどで頭を守り、歩きやすい底の厚い靴を履く。
- 肌の露出は避け、長袖、長ズボンを着用する。
- 荷物は最小限にし、徒歩で避難する。
- 火の元をもう一度確認し、ブレーカーは必ず切る。
- 飛び火や盗難を防ぐために、しっかり戸締りをする。
- 家族や援助活動をしている人に安否を知らせるため、各地区に配布されている「竜王町防災安全確認カード」を玄関先などに掲げる。
- 家族や近所の人たちと協力しながら、できるだけ集団で行動する。



一人で避難することが困難な人がいる場合は、みんなで協力して助け合いましょう。

家の中を
点検しないとね!

アンテナなどは
しっかり固定する

家族みんなで
すぐやろう!

厚手のカーテンにする

寝室には
物を置かない

枕元には
靴と懐中電灯

ブロック塀では
なく生け垣など

常時水を
貯めておく

タンス・本棚

L字金具や突っ張り棒などで家具を天井や壁に固定する。二段重ねの家具は、つなぎ目を金具で連結しておく。

転倒防止
器具

板などを
差し込む

家具の
転倒・落下を
防ぐポイント

非常用の持出品 をチェック

各家庭で「非常持出袋」を用意し、避難するのに必要なものや避難所で必要なものをまとめて目の付きやすい所に置いておきましょう。

- 飲料水 ●食料品 ●携帯ラジオ ●衣類 ●履き物
- 貴重品(現金・運転免許証・住基カードなど) ●健康保険証(写し)
- 懐中電灯 ●救急セット(常備薬) ●筆記用具 ●雨具・ロープ など

ステップ1

非常持ち出し品の中から携帯ができそうなものは、バックやポケットに入れ、身に付けてみよう

ステップ2

家庭や勤務先など1日の多くを過ごす場所には「非常持出品」を備えよう

ステップ3

非常時、ライフラインが途絶え、もしも手助けの手が届かなかったとしても何日間かしのげる物品を備蓄しよう



災害時の情報収集の仕方や連絡サービスの利用方法をおさらいしておきましょう

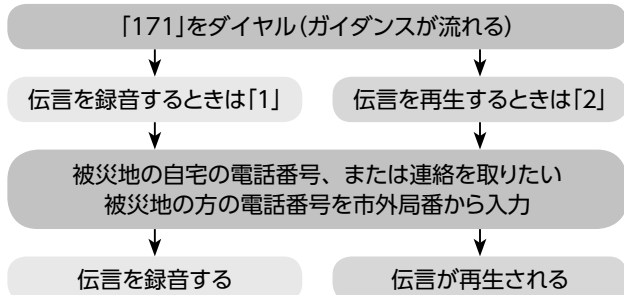
災害に関する情報は、さまざまな方法でお知らせされます。携帯電話やインターネットなどを活用した方法もありますので、普段からその使い方を知っておき、サービスを利用するための登録も済ませておきましょう。

「NTT西日本」

171 災害用伝言ダイヤル

携帯電話・公衆電話・固定電話から利用できます

地震・噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。



しらがメール

しらせる滋賀情報サービス

HP <http://www.pref.shiga-info.jp>

防災・防犯などの身の回りの危険に関する情報を電子メールで配信しています。あらかじめユーザー登録(無料)が必要です。

■主な配信の内容

避難情報、河川水位情報、雨量情報、土砂災害警戒情報、気象警報・注意情報、地震情報、けいたくん防犯情報など

■ユーザーの登録方法

右の二次元コードを読み取るか、entry@pref.shiga-info.jpに空メールを送信してください。



竜王町内の
NTTドコモ
ユーザー対象

緊急速報 エリアメール

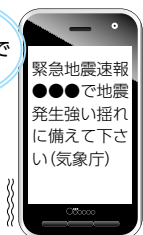
申込不要・受信無料

地震発生時や災害時に竜王町内におられるNTTドコモの携帯電話をお持ちの人に対して、回線の混雑の影響を受けずに一斉に緊急災害情報が配信されます。
※竜王町内を対象エリアとした仕組みであるため、メール配信時に町内におられる人が受信可能(対応機種のみ)となります。

■エリアメールで配信される情報

- 気象庁などから配信…緊急地震速報、災害・避難情報
- 竜王町から配信…避難勧告、避難指示、国民保護情報など

ブザー・
バイブ鳴動で
お知らせ

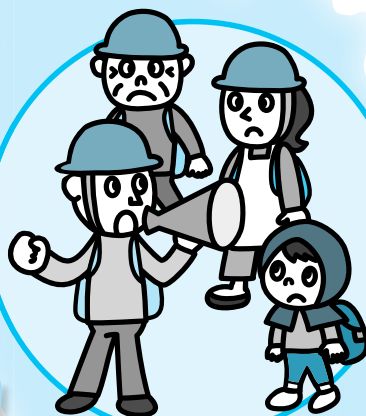


緊急地震速報

エリアメール
着信音で
お知らせ



災害・避難情報



町広報車や 消防車両・ 有線放送から

避難誘導案内や災害状況などがアナウンスされます。



各自治会から

被災状況、避難準備・誘導、避難所開設などの情報が、町から各区長を通じて町民の皆さんへ連絡されます。(連絡方法は各自治会によります)

テレビ・ラジオ・新聞 インターネットなどから

状況に合わせて使えるものを選んで情報収集をします。



気象庁からの「特別警報」が発表されたら身を守るために最善を尽くしてください！

気象庁では、これまで大雨や津波、高潮などにより重大な災害の起こる恐れがある時に警報を発表してきましたが、今後これに加え、警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表します。特別警報が発表されるのは、「東日本大震災」における大津波や日本で観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮や紀伊半島に甚大な被害をもたらした「平成23年台風第12号」の豪雨などのような、非常に危険な状況にある場合です。

問 彦根地方気象台防災業務課 ☎0749-22-6142

詳しくはこちら

HP <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>